

ネイチャーストラップ

※人数制限はありませんが、用具に限りがあるので、人数が多い場合は時間が必要になります。
さいたま市立館岩少年自然の家

ねらい	④自然で創作	所要時間	0.5～1.5時間
身に付くことが期待される項目	③自然への関心 ④課題発見・設定 ⑤思考・理解 ⑦学習との関連付け ⑧体力・健康への関心		
概要	生活科や理科でアサガオやホウセンカ、ヘチマなどいろいろな植物を育てたことを思い出してください。葉や花の大きさや形はちがっていましたね。自然の家の近くにも、いろいろな葉の形や大きさの植物があります。 自然の中からお気に入りの葉や実を見つけ、オリジナルのストラップを作ってみましょう。		

1 準備する物

【個人で用意するもの】

・ボンド

【個人で見つけてくるもの】

・いろいろな木の葉 ・木の実 ・小枝など

【学校・団体で用意するもの】

・油性ペン ・水性顔料インクカラーペン

【館岩少年自然の家で用意できるもの】

・のこぎり ・焼き印セット ・きり

【館岩少年自然の家で購入できるもの】

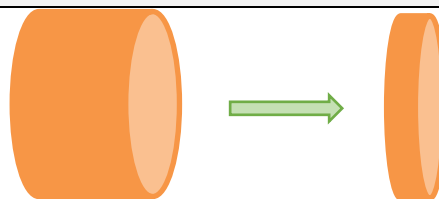
・ネイチャーストラップセット(ヒートン、ストラップ、丸太) ・サンドペーパー



2 具体的な活動内容

① 丸太を輪切りにする。

- ・丸太をのこぎりで1cmくらいに切る。
- ・サンドペーパーがある場合は、断面を磨きましょう。



② かざり付けをする。

- ・やり易く掛けて断面が平らになったら、木の葉や木の実をはり付けたり、絵や文字をかいたり、ポスカ等のペンで飾り付けをします。

※焼き印を付けたい場合は担当所員にあらかじめ相談をしてください。基本的には所員が焼き印を押しますので指導依頼が必要となります。



③ ヒートンを付ける。

- ・ヒートンが付けにくいときは、最初にキリで下穴を開けましょう。
- ・ヒートンを持ち、押しながら回すことでヒートンが入っていきます。



④ ストラップを付ける。

- ※ ストラップをつけたら、外れやすくないか確認しましょう。

3 活動上の留意点

【活動に参加する児童生徒のみなさんへ】

- ① のこぎりは引くときに力を入れて引きましょう。
- ② 切り口と平行になるようにのこぎりで切りましょう。
- ③ のこぎりの使い方を先生方によく聞いて、けがをしないように十分に気を付けましょう。
- ④ 軍手を必ず着用しましょう。

【活動を指導する先生方へ】

- ・児童生徒にのこぎりやきりの使い方を指導してください。のこぎりが折れたり、刃が曲がったりすると、次に使用する学校ができなくなる恐れがあります。
- ・使用前、使用後にのこぎりときりの数を確認し、片づける時は所員と一緒に確認をしてください。
- ・ヤマウルシやクマザサには近づかないようにするなど、植物を採取する場所について事前に指導し、十分に注意させてください。また、自然のものをむやみに傷つけたり、採ったりしないように指導してください。

4 身に付くことが期待される項目の具体例

③自然への関心

- ・木の硬さや性質に違いがあることに気が付く。
- ・木の葉や木の実を集めることにより、自然の良さについて興味をもっている。

④課題発見・設定

- ・切りやすいところをみつけて、切ることができる。

⑤思考・理解

- ・木の硬さを感じながら、ヒートンを入れている。

⑦学習との関連付け

- ・図工：「のこぎりの使い方」、「木工用ボンドの使い方」、「きりの使い方」の内容と関連付けている。

⑧体力・健康への関心

- ・周囲の安全を確認し、「のこぎり」を使用することができる。